

平成 23 年 8 月 18 日

衆議院  
文部科学委員会 御中

社団法人日本芸能実演家団体協議会  
会 長 野 村 萬

文化芸術政策の飛躍的な充実を求める国会審議を  
(お願い)

私どもは本年、衆参両院の多くの先生方のご紹介を頂き、文化予算を国家予算の 0.5% へ増額することを中心とする「もっと文化を！」国会請願署名約 63 万筆を、衆参両院議長に提出いたしました。

その内容は、実演芸術の創造の活性化と国民の豊かな享受の機会を創り出すため、新たな助成制度と全国での拠点整備を中心とする恒常的な施策枠組みを整備し、実演芸術の総合的な振興政策を確立することにあります。

また、本年 3 月の東日本大震災は甚大な被害をもたらしましたが、文化芸術関係者は、被災地を支援し、被災者を励まし復興の力にしてもらおうと、文化芸術の力を生かす活動を活発に進めております。

文化芸術は、人々の想像力を育て、創造性を発揮し、社会の活力を生み出します。震災復興に文化芸術を生かし、さらに日本全体の文化芸術を文化産業としても育成し、世界に誇れるものとして発展させることが今後の我が国の発展にとって重要な政策に成ると確信しているからであります。

つきましては請願の意を汲み取りいただき、平成 24 年度を第一歩として中長期的な視点で文化芸術政策の充実のため、請願内容について審議を賜りたく、ここにお願い申し上げます。